

2003年度（平成15年度） 第1回常務理事会記録

日時：

2003年（平成15年）2月8日（土）13:00—16:00

場所：

東京大学医学部2号館（本館）地下カンファランスルーム

出席者：

廣川信隆（理事長）、猪口哲夫、河田光博、高田邦昭、山科正平（以上常務理事）、
依藤宏（幹事）、小森雄一郎（学会事務センター）

欠席者：

なし

I. 会議記録の確認

1. 2002年第5回常務理事会記録（案）が承認された。

II. 報告事項

1. 理事長よりの報告

白菊会理事長 倉屋利一氏が平成15年1月13日逝去されたとの報告があった。

2. 庶務報告（猪口庶務担当理事）

A. 会員異動報告（正会員2,301名、2002年12月31日現在）

- 2002年12月分

- i. 入会者：学生1名

- ii. 退会者：正会員15名、評議員1名（逝去退会）

- iii. 住所変更等：4件

B. 逝去会員

- 杉本哲治氏（日本医大・1解剖 助教授／学術評議員）

2002年11月2日逝去（享年56歳）

- James M. Sprague氏（Prof. Emeritus, School of Med. Univ. of Pennsylvania / 名誉会員）

2002年12月22日逝去

C. 学会に届けられた文書等

a. 通知

- i. 文部科学省より

シンポジウム2002「明日をめざす科学技術」開催について（案内）

ii. 日本医師会より

第1回「日本医師会感染症廃棄物安全性処理推進者養成講座」受講者募集について（案内）

iii. 理化学研究所脳科学総合研究センターより

「サマープログラム2003」参加者の公募について（依頼）

b. 書籍、定期通信他

（財）日本学術協力財団より

「学術の動向2003-1」ほか4件の定期通信が寄せられている。

c. 会告掲載、推薦、出席依頼等

i. 日本学術会議より

「第19期日本学術会議会員の候補者及び推薦人の届出に関する説明会」開催案内（2003年2月4日（火）京大会館）

※猪口哲夫庶務担当理事が出席

ii. 国立情報学研究所より

「平成14年度電子図書館サービス説明会」開催案内（2003年2月25日（火）学術総合センター）

※辰巳治之情報技術委員会委員長に出席を依頼

iii. 京都大学大学院医学研究科社会健康医学系専攻医療倫理学分野より

「先端医療技術に関する社会的合意形成の手法」について質問紙調査協力願い（締切2003年2月17日（月））

※河野邦雄倫理委員会委員長に回答を依頼

D. 第108回解剖学会総会・全国学術集会準備状況報告

順調に進行している旨報告があった。

E. 2003・2004年度役員選挙結果報告

大河原重雄選挙管理委員会委員長作成の資料に基づく報告がおこなわれた。なお問題点としては投票率の低い支部がある点、他支部の候補への投票が多くみられたことなどが指摘され、次期執行部への申し送り事項とされた。

3. 編集報告（高田編集担当理事）

A. 「Anatomical Science International(ASI)」及び「解剖学雑誌」

刊行報告両誌の刊行状況、刊行予定、今後の見通し等について報告があった。

B. その他

全国学術集会抄録データベースの取り扱い機関が国立情報学研究所からJSTに移行することに伴う問題点について報告がおこなわれた。

4. 企画・渉外報告（河田企画・渉外担当理事）

A. 2002年度日本解剖学会奨励賞選考委員会からの報告について

寺島俊雄解剖学会奨励賞選考委員会委員長よりの、選考経過および結果、理事会への提言、次年度への申し送り事項などの報告があり、次回の理事会に諮られることになった。

B. 解剖組織技術士資格認定について

山下和雄解剖組織技術士資格審査委員会委員長より、2級解剖技術士資格審査について、申請者（1名）が資格有りとして認定された旨の報告があった。

C. 第16回国際解剖学会議準備状況報告

準備は問題なく進行している旨報告があった。

D. 生物科学連合への対応について

a. 「生物」関連教科書の検定に対する意見書について

前回常務理事会で報告・審議された生物科学学会連合からの“「生物」関連教科書の検定に対する意見書”について、解剖学会としては意見書に学会名を記載することに問題なしとして返事し、意見書は2003年1月16日遠山文部科学大臣に生物科学学会連合から提出された旨報告があった。

b. 国際高等コンファレンス第2回意見交換会出席報告

「国際高等コンファレンス」とは岡崎基礎生物学研究所が企画中の新しい形のシンポジウムであり、基生研としては生物科学学会連合として文部科学省に予算措置の要望書を出すことを望んでいる。このコンファレンスに関する表記意見交換会の議事につき報告があった。

c. その他

第108回解剖学会総会・全国学術集会における日米合同シンポジウムの米国側演者に変更があった旨、報告がなされた。

5. 会計報告

A. 2002年度12月分会計報告

平成14年度の収支計算書（案）が提示された。平成14年度は単年度では科研費研究成果公開促進費が入ったこともあり、赤字にならずに済んだが、中長期的には抜本的な対策が必要であるとの報告があった。

III. 審議事項

1. 文部科学省実地検査において指摘された改善を要する事項への措置について表記実地検査に置いて指摘された問題点と講じた措置につき、審議がおこなわれた。これに関連して新たに定める内規については次回理事会で承認を受けた上で、3月末までに講じた措置を文部科学省に報告することが決定された。

2. 2004年度科研費審査委員候補者及び第19期日本学術会議会員候補者選出選挙、学術会議会員候補者推薦人及び推薦人予備者の選定について

2004年度科研費審査委員候補者及び第19期日本学術会議会員候補者選出選挙については2003年2月28日締切りで全学術評議員の投票により実施されることになった。後者については総合科学技術会議の「日本学術会議の在り方に関する専門調査会」の最終まとめが昨年未までに決定されなかったため、第19期の会員選出手続きは現行制度の下でおこなうとの連絡が学術会議より入ったため、実施することになった。

また学術会議会員候補者推薦人および推薦人予備者選定に関する審議もおこなわれた。なお科研費審査委員候補者選出手続きに関しては学術会議への推薦人数の枠が大きくなった現在では、現行の2段階による選出方式は有効に機能しているとは言い難

く、見直しが必要とされ、記名による5人連記方式が提案された。

3. 2002年度永年会員推薦者の件

候補者一覧の資料が提示され、原案通り承認、理事会に諮られることになった。

4. 2002年度申請学術評議員の件

次回常務理事会で審議の上、理事会に諮られることになった。

5. 2002年度解剖組織技術士功労賞の件

資料が提示され、原案通り理事会において審査されることになった。

6. 第110回（2005年度）総会・全国学術集会開催担当校について

表記については平成14年10月末を締切りとして学会ホームページ、解剖学雑誌において公募をおこなったが、立候補はなかったので順番、地域性などを考慮の上、候補となる大学に直接打診をおこなうこととなった。

7. 2003年度第1回理事会議題（案）について

表記案につき審議がおこなわれ了承された。

8. その他

第108回解剖学会総会における議長について

解剖学会総会の議長はこれまで恒例として会頭が務めてきたが、第108回総会については猪口哲夫会頭は庶務担当理事でもあるので、副会頭に委任することが提案され、了承された。